

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表	
事業所名	てらびあぽけっと南柏教室
公表日	令和7年 12月 20日
利用児童数	令和7年 10月 31日現在 回収数 32/39

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	31件	1件				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	29件			3件		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27件	3件		2件		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	32件				いつも清潔。玩具の配置など家でも参考にしている。	ありがとうございます。今後もお子様が過ごしやすいよう環境整備を行っていきます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	32件				専門職のスタッフが多いので安心。	ありがとうございます。より良いプログラムをご提供できるよう今後も努力していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31件			1件		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32件					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29件			3件		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32件					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24件	1件		6件	好き、苦手含めて色々なプログラムを取り入れてある。	ありがとうございます。今後もお子さまに合ったプログラムをご提案できるよう努力していきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11件	2件	11件	8件		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31件	1件				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32件					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10件	7件	7件	8件	気軽に相談しやすい。	ありがとうございます。スタッフ一同、今後も話しやすい雰囲気づくりを心がけていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	32件				面談があるため、相談しやすい。	ありがとうございます。面談の時間に日々の小さなことでもお話頂けるよう今後も心がけていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	32件				週に1回の面談がある。困りごとに対するアドバイスもある。	ありがとうございます。適切なアドバイスが行えるよう、スタッフ一同日々努力していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	32件				いつも寄り添った言葉がけがある。子供だけでなく親も支えられている。	ありがとうございます。スタッフの励みにもなります。今後も精進してまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3件	2件	14件	13件		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29件	1件		2件	面談以外でも、電話での相談も出来る。	ありがとうございます。ご家族に寄り添った対応ができるよう、今後も努力していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29件	2件		1件		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15件	3件	1件	13件		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28件	2件		2件		

非常時の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26件	2件		4件		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	31件	1件				
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30件	2件				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30件	2件				
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	32件					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	30件			2件	いつも楽しみに通っています。	ありがとうございます。お子様に楽しく通っていただけるよう今後も努力していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	32件					

事業所における自己評価結果						
公表						
事業所名		てらびあぽけっと南柏教室				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7件			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5件	2件		職員の配置は適切であるが、常に急なスタッフの休みに対応できるような人数にしてい
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7件			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7件			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7件			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6件	1件		実施はしているが、もう少し振り返りに対してどのくらい改善されたかを細かく評価していく必要がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6件	1件		定期的にMTG等で検討し、保護者様に頂いた意見の改善や振り返りに繋げている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7件			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				当社実施なし
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7件			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7件			HPIにて公表してあります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7件			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7件			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7件			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7件			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に	7件			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7件			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6件	1件	MTG等で職員全員でお子様のプログラムについて検討する時間を定期的に設けるようにしていく。	それぞれが意識しながらその都度お子様のセラピーに取り組む。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7件			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6件	1件	朝礼や終礼で共有事項を伝えたり、確認できるようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6件	1件	朝礼や終礼で共有事項を伝えたり、確認できるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7件			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7件			
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7件			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6件	1件	地域連携会議等に参加し、交流の場を持つようにしている。	全スタッフに報告、周知していく。

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5件	2件	保護者からの依頼を受け、保育所などの訪問をしたり、電話で情報共有を行っている。	全スタッフにわかりやすく実施した内容を周知していく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。				
保護者への説明等	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7件			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。				
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7件			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7件			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7件			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7件			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。				
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7件			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7件			
非常時等の対応	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7件			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7件			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。				
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7件			
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7件			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6件	1件		新しいスタッフなどまだ把握しきれていないこともあるため、今後はしっかりと共有していきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。				
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7件			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6件	1件		周知し、相談室に閲覧できるようにしております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6件	1件	夕礼での報告など、些細なことでも記載するようにしている。	検討はまだ不十分などもあるため、継続して安全対策を徹底していく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7件			研修を行っているが、引き続き職員が意識し続けられるように定期的に話をしていく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7件			

事業所における自己評価総括表			
公表			
○事業所名	てらびあぽけっと南柏教室		
○保護者評価実施期間	令和7年10月1日 ～ 令和7年10月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38名	(回答者数) 31名
○従業者評価実施期間	令和7年10月1日 ～ 令和7年10月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スタッフ間でお子様に対する情報共有やプログラムに対しての意見交換は積極的に行われている。	定期的に確保されているミーティングの時間に、スタッフがそれぞれ疑問に思っていることや改善が必要と感じる部分について話し合う時間を設けている。	全スタッフの意識を高めていくために、持ち回りでその日のリーダーを決め、中心となって動いてもらうことで受け身ではなく自ら積極的に取り組んでいけるようにしていく。
2	明るい雰囲気でお子様一人一人で向き合っている。	ミーティングの時間を定期的により作り、スタッフがそれぞれ疑問に思っていることや改善が必要と感じる部分について話し合う時間を設けている。	成長のために、指摘ではなく、提案をしたり、相手の良い部分は褒めたり、それぞれ取れ入れながらより良い教室作りに取り組んでいく。
3	福利厚生がしっかりしていたり、スタッフの休みが出た際に、グループ内でのヘルプなどがあり対応が出来る。	グループ内でも全体ミーティングを行ったり、親睦を深めるためにランチミーティングなどが行われている。両教室のスタッフ間でもやり取りがしやすくなっていたり、ヘルプなどでスタッフの休みにフォローできるようにしている。	今後もスタッフ間の親睦を深め、急な休みなどにご利用者様にご迷惑をおかけしないように協力していく。両教室間の質に差が出ないように研修等行っていく。
	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お子さんに合わせたプログラムを立てるのに自信がなく、上手くプログラムの道筋を立てられないことがある。	経験の差や、まだ自信がないことで、迷ってしまうことが多い。	自分の担当以外でも気になることがあればミーティングの議題に積極的に挙げていけるようにする。段階的にプログラムの指標をもう少し細かく作っていく。
2	接遇面や、保護者対応でまだ不十分さがみられることがある。	言葉の受け取り方の違いや考え方の違いなどから、保護者にとっては受け入れてもらえなかった、対応が思ったものと違ったなどご意見をいただくことがあった。一旦は受け止める、寄り添うという姿勢の認識の違いがあった。	接遇面に関する研修も行い、常に丁寧にお子様や保護者様に対応していけるようにしていく。
3	環境整備が不十分なことがある。	業務の習得度合いに違いがあったり、業務処理の時間も人によって違うため余裕がないことがある。	それぞれが自分以外の人のことや、後に使用する人のことを常に考え、気遣いを忘れずに出来ることは率先して動けるように意識づけをしていく。